

文化や芸術のためにならないホールの計画・ 地域のためにならない計画を考え直してください

京都市は「京都会館再整備基本計画」を策定し、京都会館第一ホールを解体・建替することを計画しています。この計画は、平成14年度から専門的な調査や検討委員会を経て準備されてきた改修計画と連続性がなく、利用者や専門家の意見を無視して策定され、公表と同時にその年度で使用受付を停止するなど、利用者への配慮に著しく欠けたものとなっています。また、「世界水準のオペラやバレエ」を可能とする舞台を備えたホールにすることを口実として、重要な文化財であり歴史的意義の高い京都会館の建築物を取り壊し、岡崎地域の景観に悪影響を与えるなど、文化や景観への理解に欠けた計画となっています。

さらに、これまで京都の文化を支えてきた地域の音楽・舞台関係者を無視して、海外の団体の来日公演に焦点を当てた計画となっている点、再整備後のホールでは自主制作を行わない旨が明言され、ホールの建設には多額の税金を投入するのに対し、演奏・公演活動には配分する姿勢が見えない点は、音楽と舞台芸術を愛する立場として、見逃すことが出来ません。また、進行中の「京都会館の建物価値継承に係る検討委員会」では専門家から施設のスペックを見直すように再三求められ、貸しホールとしての長期的な収支の見込みが全く考慮されていないなど、不備のある計画となっています。このように調査不足で関係者や専門家の意見を聞かずに強引に計画された施設は、建設後は、過大な舞台設備を備えた施設の維持管理に京都市の文化予算が侵食され、演奏・公演活動への財政的圧迫をもたらすことが予想されます。文化政策として問題の多いこの計画を白紙に戻して、関係者や専門家の意見を反映させた、客観的で長期的な視点に基づいた計画とすることを求める声明にご賛同ください。

呼びかけ人・連絡先 京都会館再整備をじっくり考える会 事務局 西本裕美
<http://www.jca.apc.org/jikkuri/> jikkuri.kyoto@gmail.com 090-3926-4329

音楽と舞台芸術を愛する立場から京都会館再整備基本計画を憂慮する声明

(1) 施設の建設ありきのハード先行の文化政策に抗議します。

京都会館のこれまでの利用者、京都や近隣の音楽・舞台関係者や専門家の意見を反映させ、京都の音楽・舞台芸術がいかにあるべきかというソフトの議論を先に行い、そのために必要な施設が計画されることを望みます。

(2) 演奏・公演活動への財政的圧迫につながるおそれのある過重な舞台設備を有する施設を、単なる貸し会場として作ることを、我々は歓迎しません。

(3) 海外の団体の来日公演ではなく、地域の音楽・舞台芸術関係者の育成のための計画を望みます。

お名前	ご住所	所属先・団体名(※)	公表可否

(※)「お名前(所属先・団体名)」の形式で、賛同者として公表する可能性があります。公表に同意される方は、公表可否の欄に○をしてください。送付先 FAX: 075-203-6449 (京都会館再整備をじっくり考える会)